

平成30年度 羽咋郡市 糖尿病地域連携協議会 活動報告

発表者: 西澤 誠(町立宝達志水病院)

代 表: 松下栄紀(公立羽咋病院)

副代表: 中野 茂(志賀クリニック)

活動の概要

医療関係者に対する取り組み

- 講演会の開催

住民・患者に対する取り組み

- 眼科・歯科・内科との連携事業
- かかりつけ医と市町保健師・管理栄養士による療養指導
- 糖尿病理解のための出前講座などの啓蒙活動
- 住民検診後の事後指導への支援

これまでの成果

- 平成26年度：糖尿病患者において歯周病が重症であることが高血圧や腎機能の悪化に関係するばかりでなく、心血管イベントの既往を予測する独立した因子になる。
- 平成27年度：無歯顎の糖尿病ではそうでない群に比べ心血管イベントの既往が有意に高頻度である。
- 平成28年度：歯周病の重症度自体が心血管イベントの既往の独立した因子である。
- 平成29年度：糖尿病患者では非糖尿病患者に比べ無歯顎になる頻度は高いとは言えないが、無歯顎になる年齢がより若年である。

講演会の開催

- 平成30年8月24日

「5年間の成果発表会」

- 糖尿病と他の生活習慣病を有する患者における歯周病重症度の比較：地域連携による多施設共同研究
- ペリオスクリーンの紹介と実習
- 歯周炎のプレジジョン・メディシンに向けて
- 糖尿病と歯周病：羽咋郡市中野プロジェクトの統計解析

参加者：医師9名、歯科医師25名、薬剤師11名、そのほか5名

- 平成31年3月15日

「糖尿病性腎臓病の治療戦略 2019」

眼科・歯科・内科との 連携事業

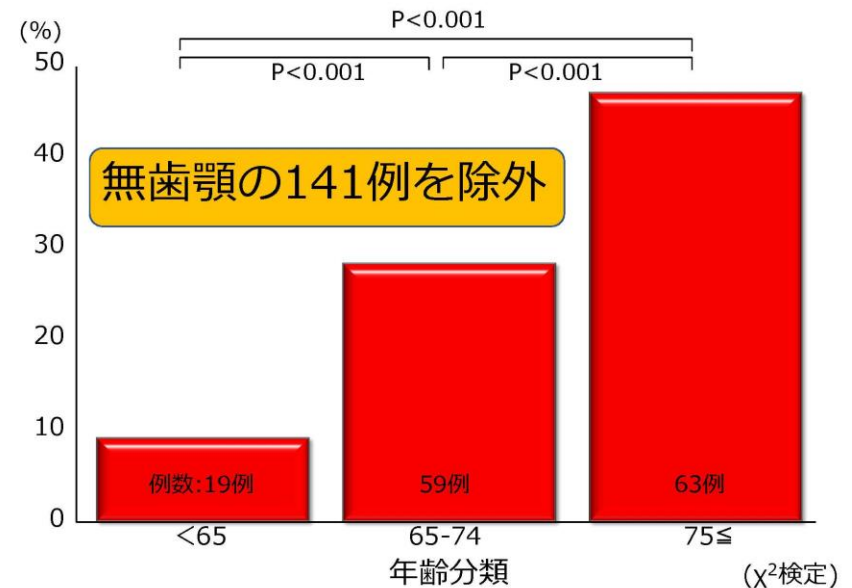
高齢糖尿病患者の腎臓病進展への対策
「腎症重症化予防プログラムを踏まえて」

：まずは現状把握から

平成30年末の症例登録数：903例

高齢糖尿病患者の腎臓病重症化に関連する因子を明らかにする。

各年齢分類における無歯顎の頻度の比較



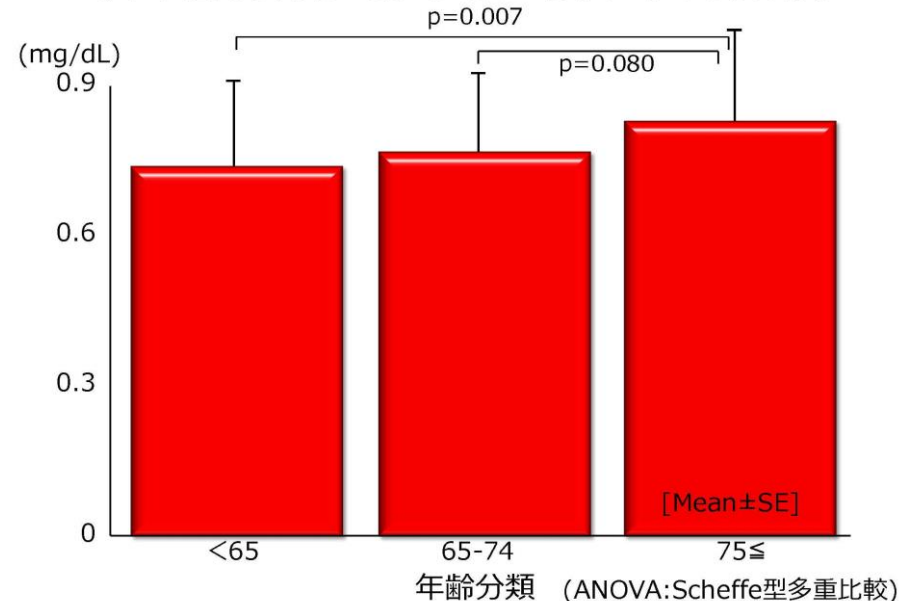
各年齢分類における一般臨床所見および 糖尿病合併症の比較 (合計411例)

年齢分類	<65	65~74	75≤
例数	190	150	71
年齢 (歳)	56±8	69±3***	78±3***
体格指数 (kg/m ²)	26.1±4.2	24.5±3.6**	24.4±3.7**
糖尿病歴 (年)	7±7	12±8***	16±11***
HbA1c (%)	6.8±1.1	6.8±0.7	6.7±0.7
随時血糖 (mg/dl)	147±51	143±43	158±57
神経症 (%)	8	14	14
網膜症 (%)	13	18	21
腎症 (%)	28	29	31

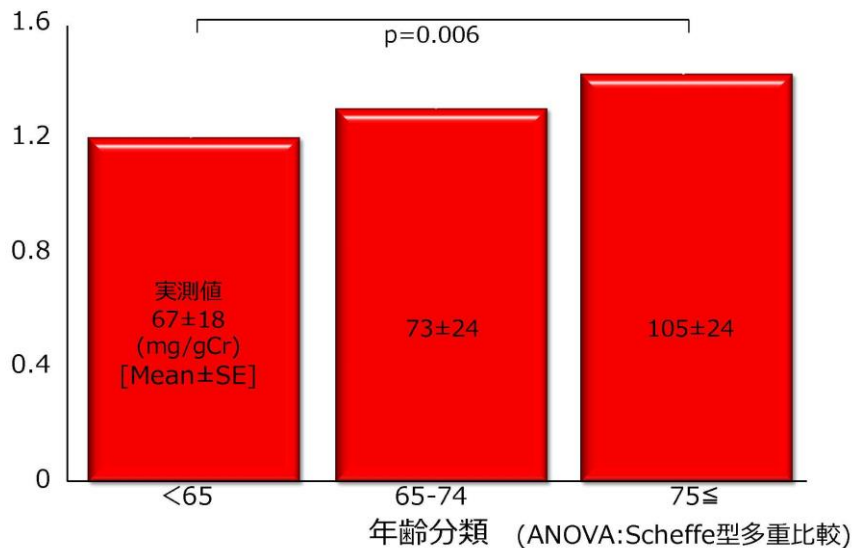
(Mean±SD, 例数又は頻度(%)) (ANOVA:Scheffe型多重比較, χ^2 検定)

p<0.01, *p<0.001 vs. age<65 years group

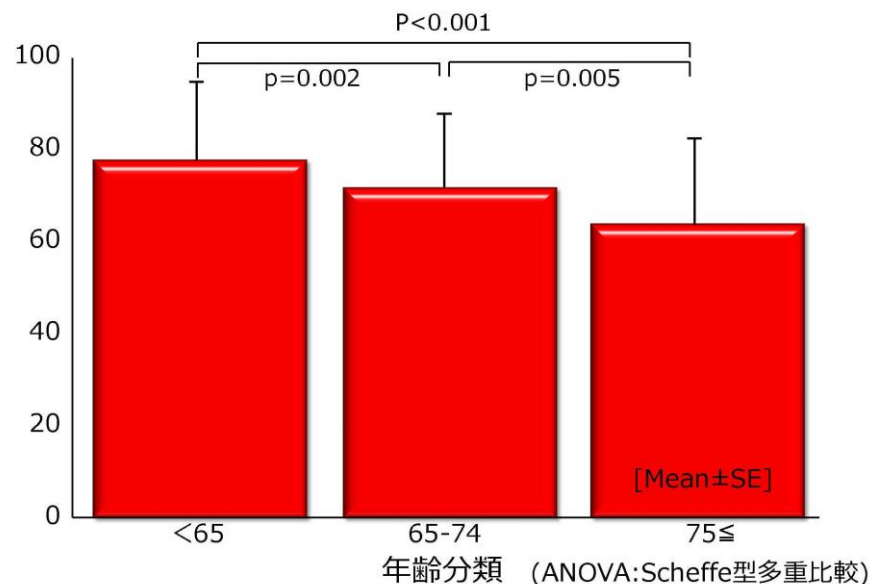
各年齢分類における血清Cr値の比較



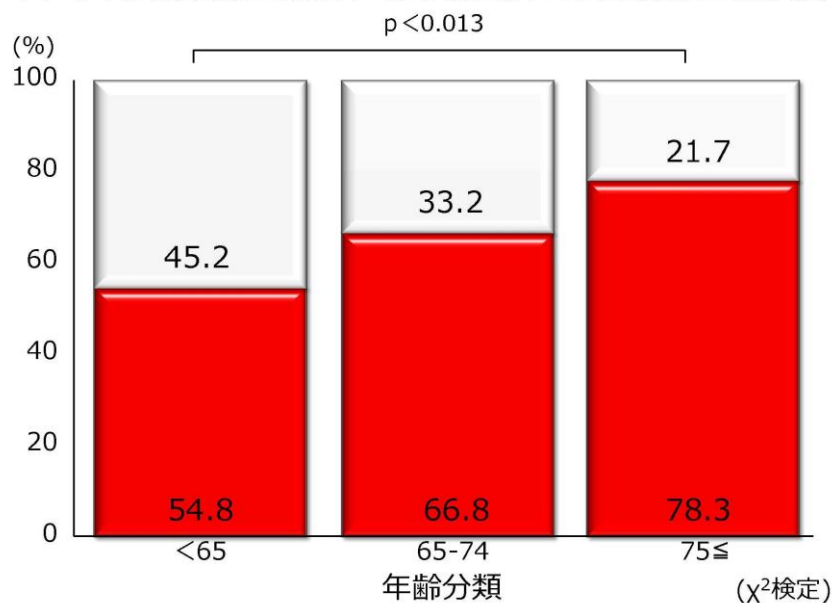
各年齢分類におけるlog (ACR) の比較



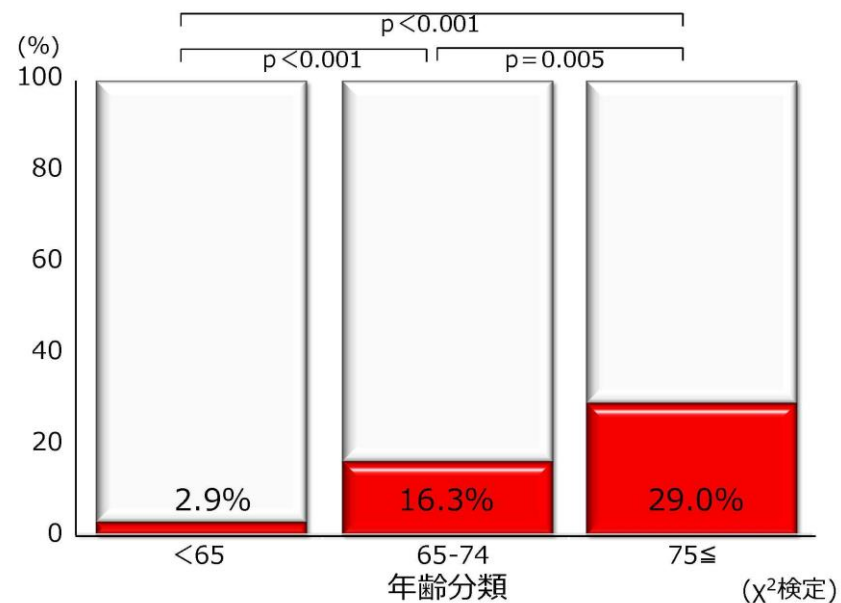
各年齢分類における推算GFR値の比較



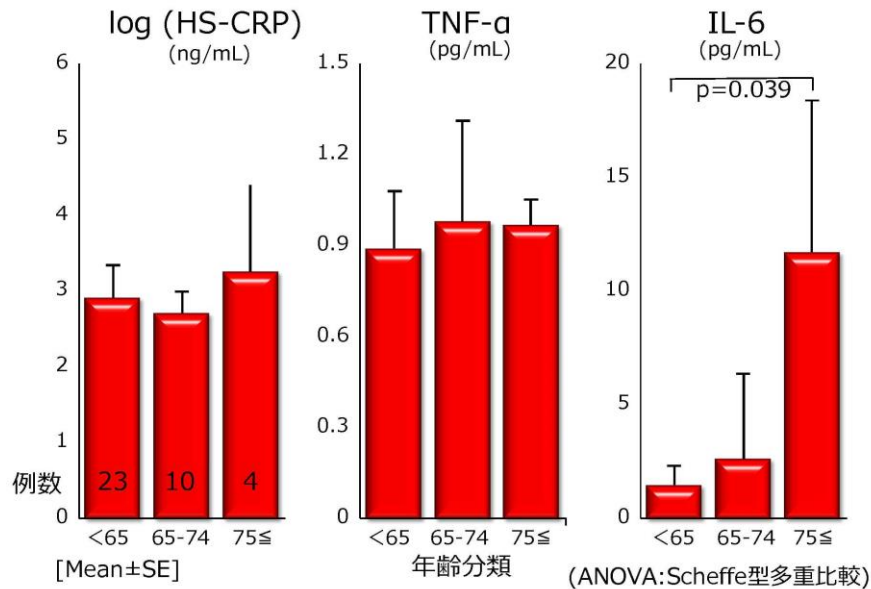
各年齢分類における高血圧の頻度の比較



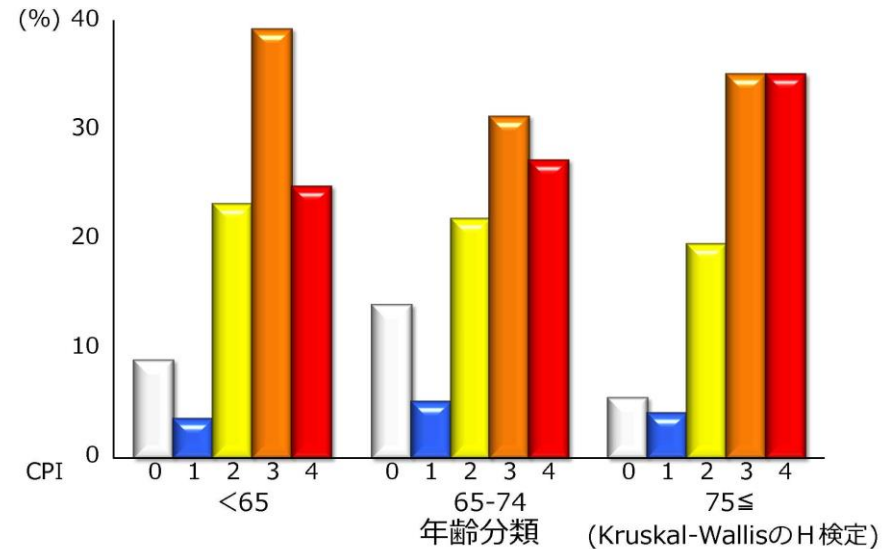
各年齢分類における心血管イベントの既往の頻度の比較



各年齢分類における各種サイトカイン (末梢血) の比較



各年齢分類におけるCommunity periodontal index (CPI) で評価した歯周病重症度の比較



高齢糖尿病患者における腎臓病重症化 (ACR: log変換値) と関連する因子の解析 : 変数増減法による重回帰分析

説明変数	偏回帰係数	P値
年齢	-0.002	0.518
性別 (女性=1, 男性=2)	0.030	0.586
糖尿病罹病期間	0.012	<0.001
高血圧症	0.178	0.002
心血管疾患の既往	0.333	<0.001
歯周病重症度 (CPI)	0.054	0.016

結論

高齢糖尿病患者における腎機能の悪化には、単に年齢や血糖コントロール状況によるのではなく、罹病期間、高血圧症、心血管疾患の既往に加え、歯周病重症度が関連することが明らかとなった。

これには、無歯顎が高頻度となる事と共通する、IL-6高値が関連するメカニズムの関与が推察された。

かかりつけ医と市町保健師・管理栄養士による 療養指導

- 目的: かかりつけ医における糖尿病患者の生活指導、栄養指導の支援
- 方法: かかりつけ医の要請により市町の保健師および管理栄養士が患者指導を実施

指導実績

- 羽咋市: 今年度依頼1件に対し2回指導
累積 8件に対し計22回指導
- 志賀町: 今年度依頼なし
累積 11件に対し32回指導
- 宝達志水町: 今年度依頼なし

糖尿病理解のための出前講座などの啓蒙活動

- 羽咋市
市内の11地区で「健康セミナー」を開催
在住地区の健康状態の現状報告
生活習慣病の改善方法指導
参加人数 計228名
- 志賀町
平成31年3月開催予定
- 宝達志水町
「糖尿病ミニ・フォーラム」を開催
HbA1c測定・尿中微量アルブミン検査
理学療法士による筋力低下予防運動指導
薬剤師による糖尿病お薬相談
参加人数 30名

住民検診後の事後指導への支援

目的: HbA1c値が糖尿病域に至った受診者の重症化を予防する。

方法: 特定健診でHA1c 6.5%以上の受診者に保健指導および未受診者に対しては受診を勧める。

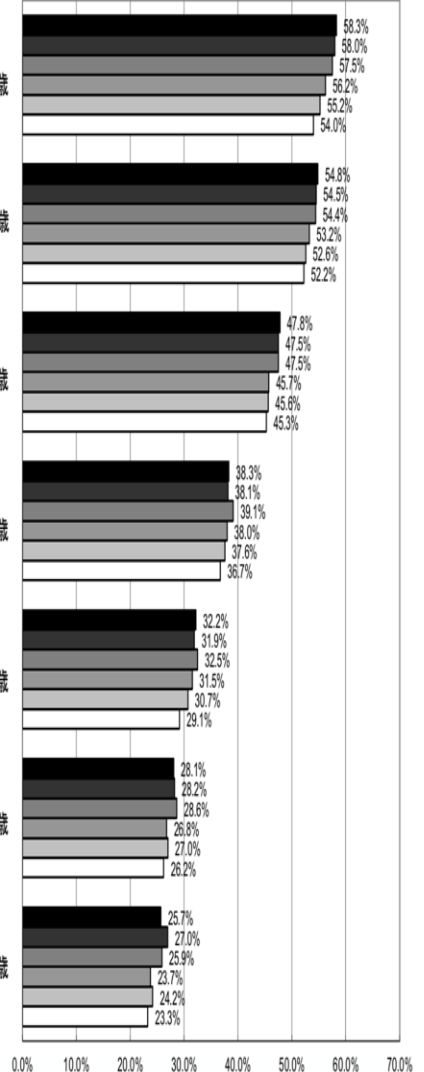
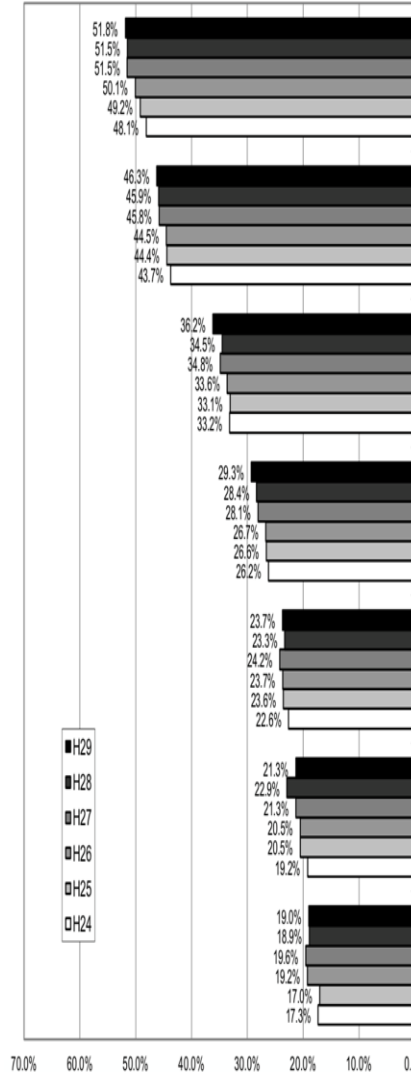
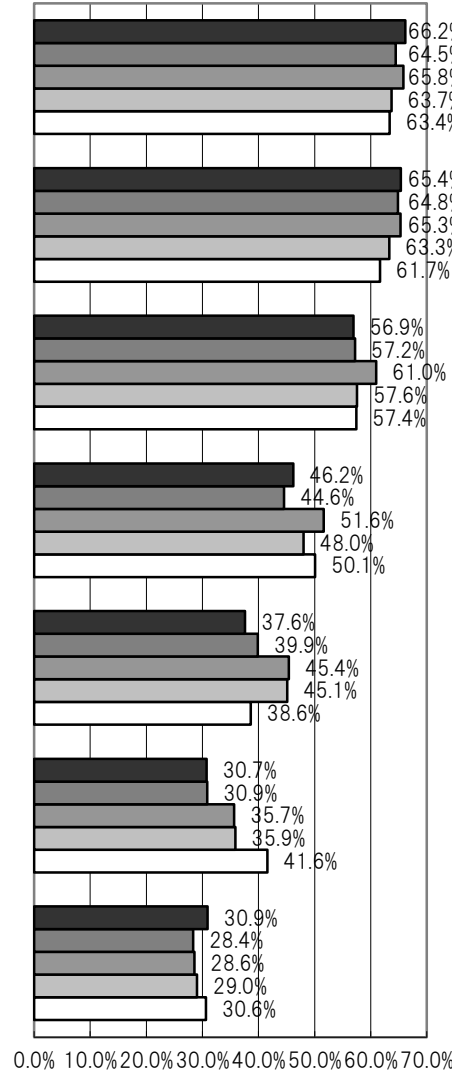
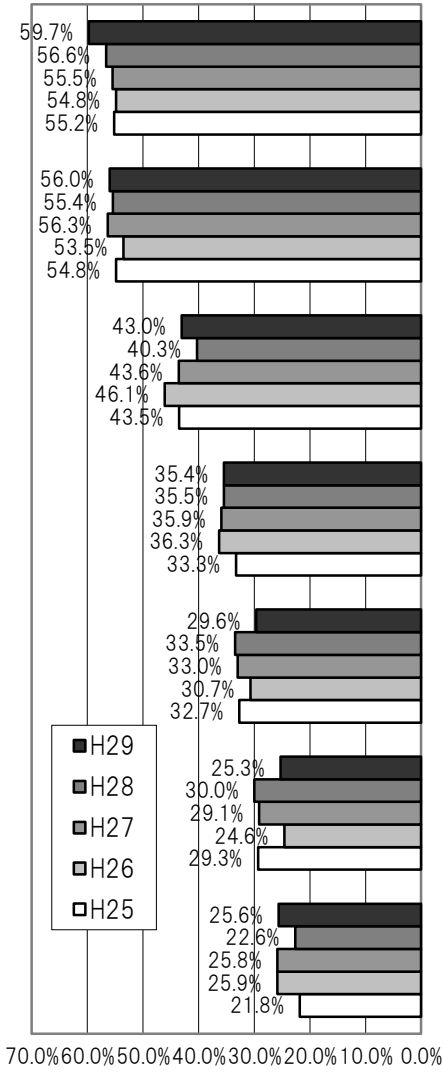
平成30年度 保健指導実施状況 (平成31年1月末時点)

	対象者	保健指導実施数
羽咋市	202	171
志賀町	247	23
宝達志水町	103	83

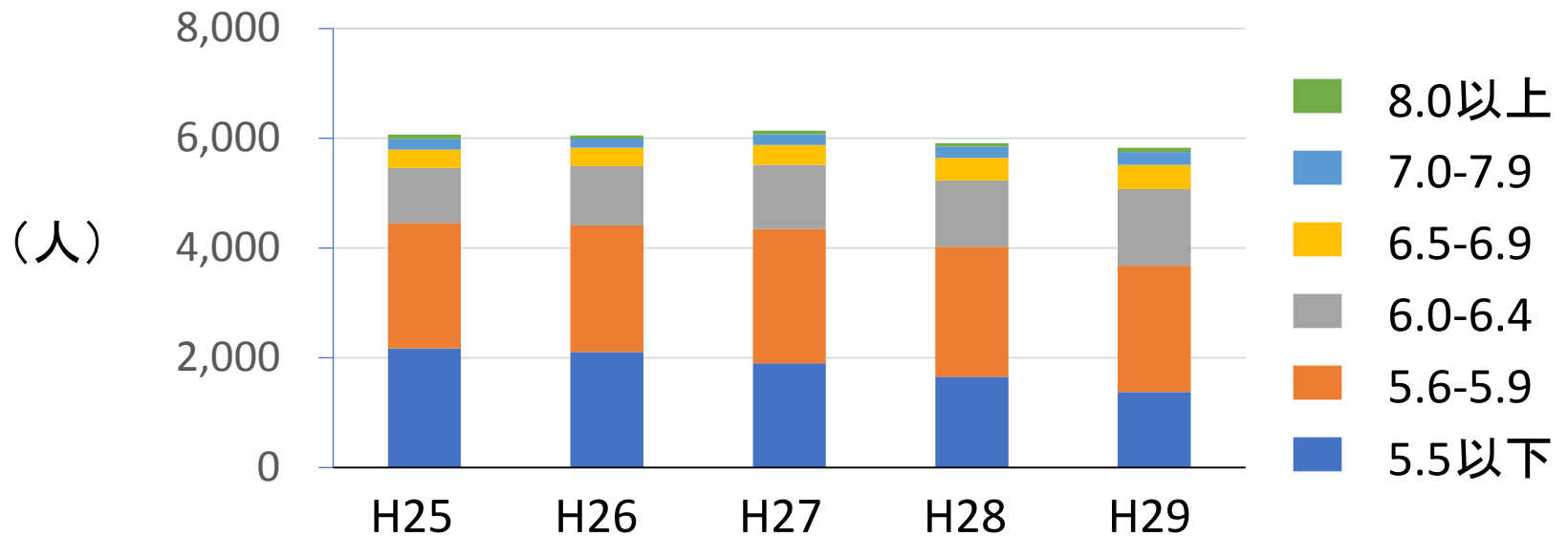
特定健診受診率

羽咋都市

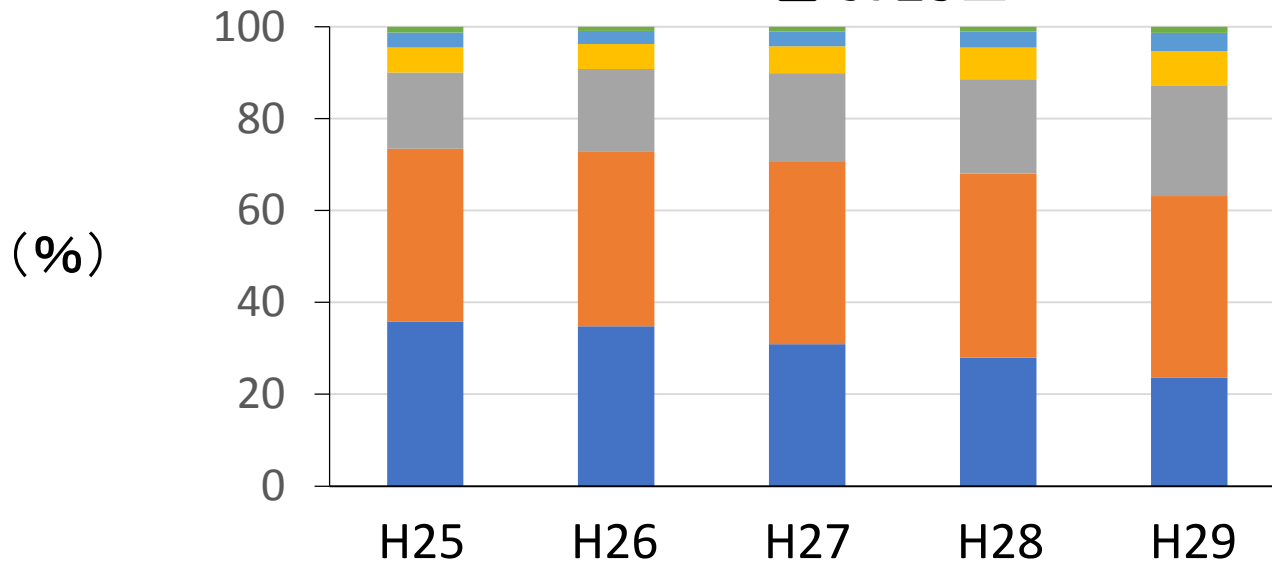
石川県全体



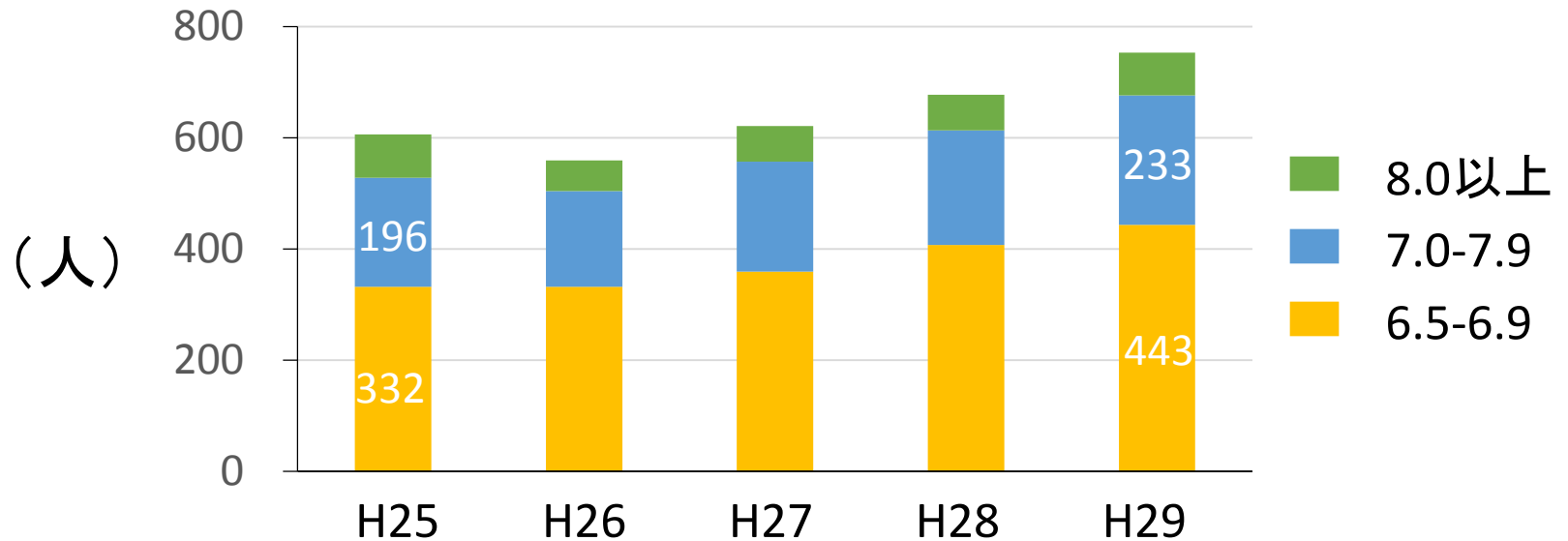
HbA1c値層別の受診者数：5年の推移



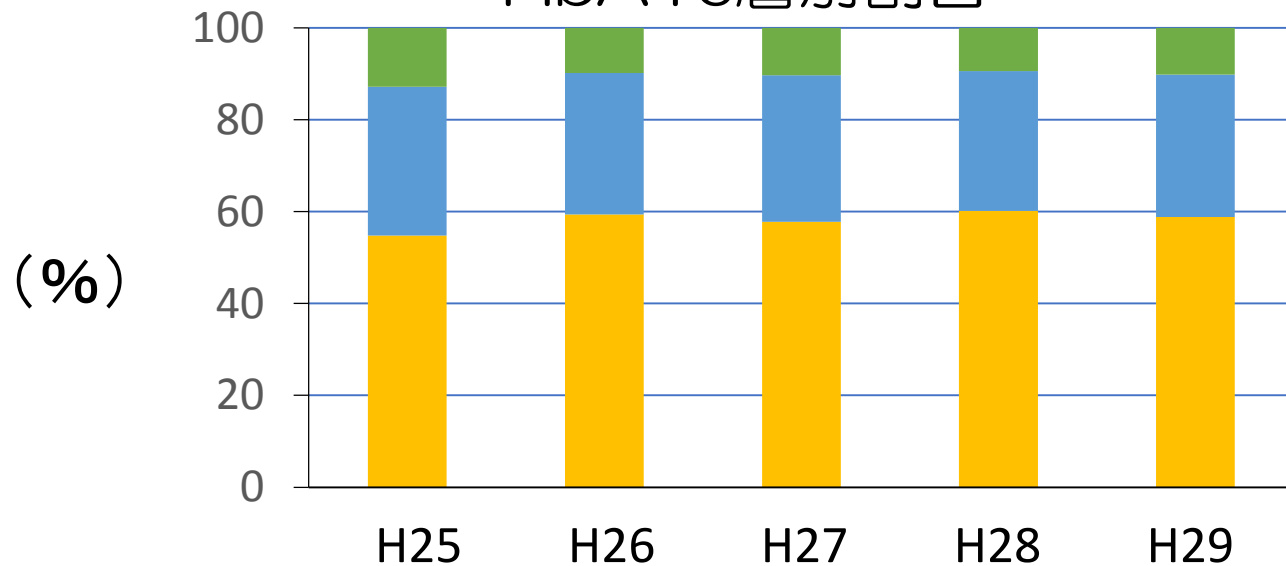
HbA1c層別割合



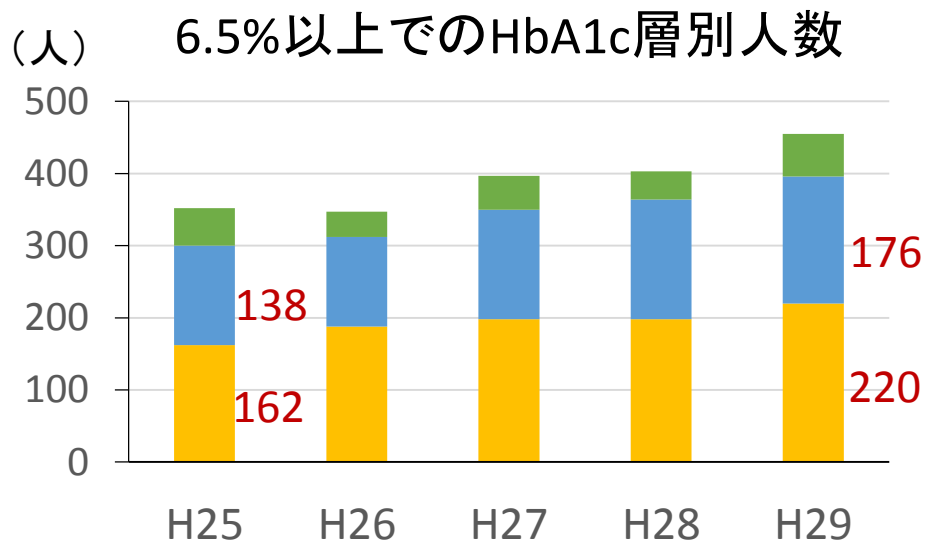
HbA1c 6.5%以上の受診者数：5年の推移



HbA1c層別割合

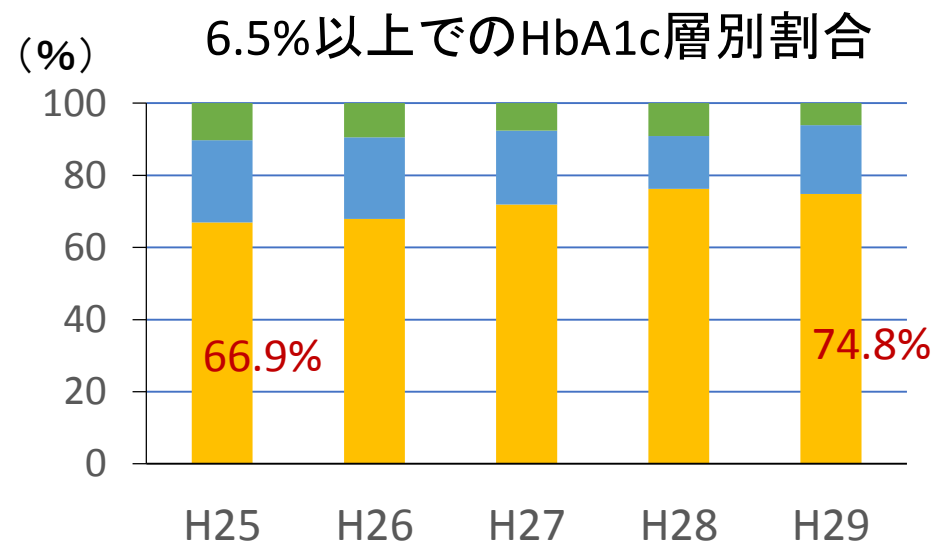
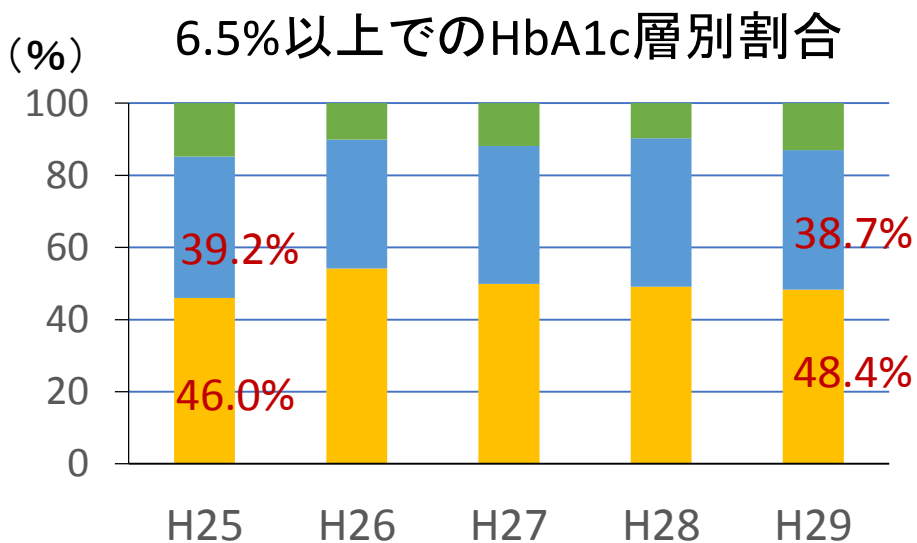
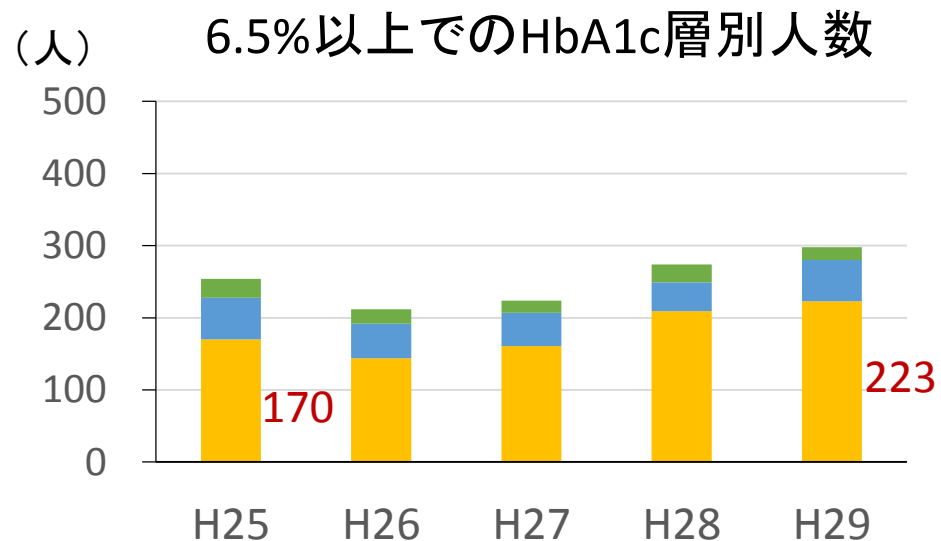


治療有り

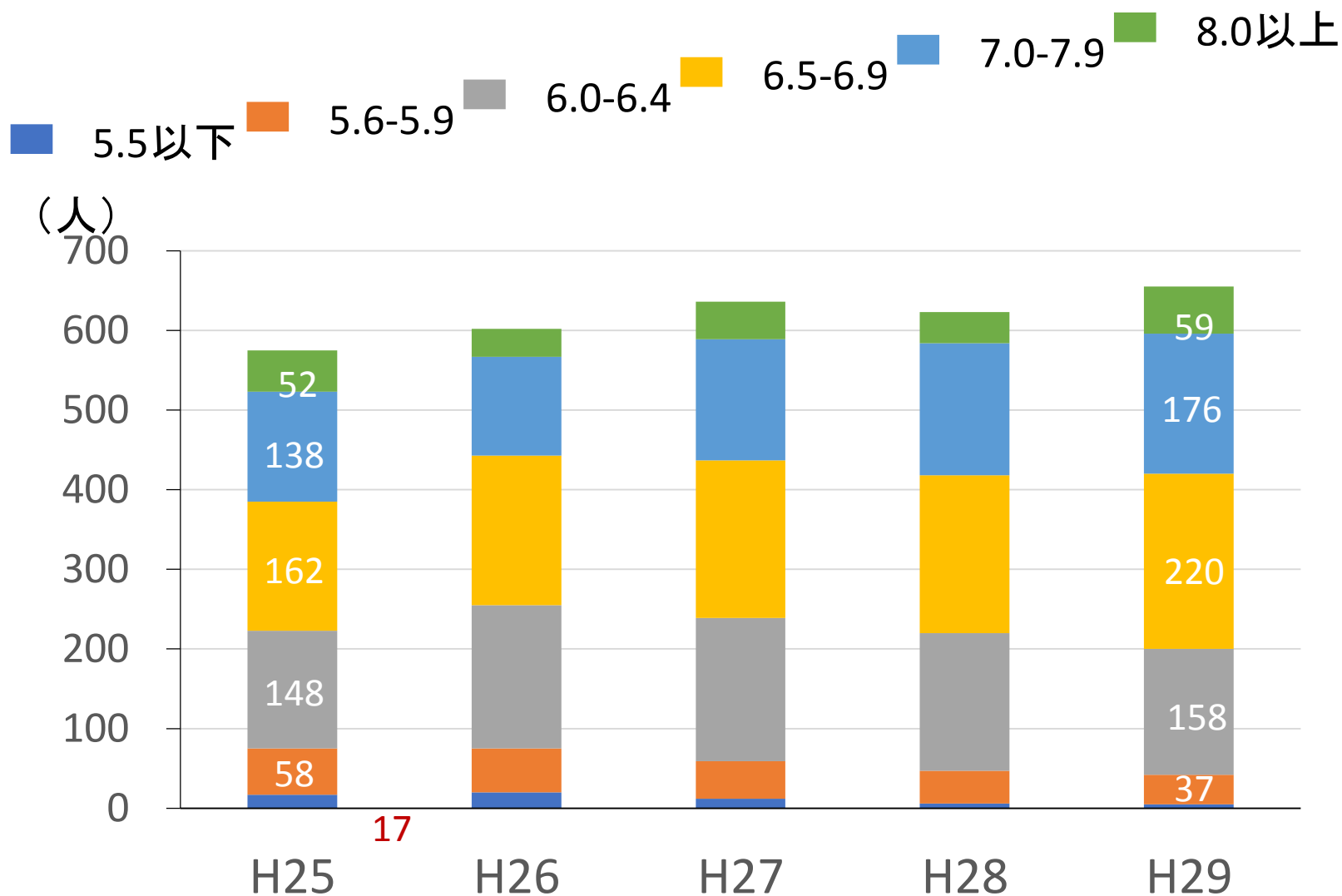


6.5-6.9 7.0-7.9 8.0以上

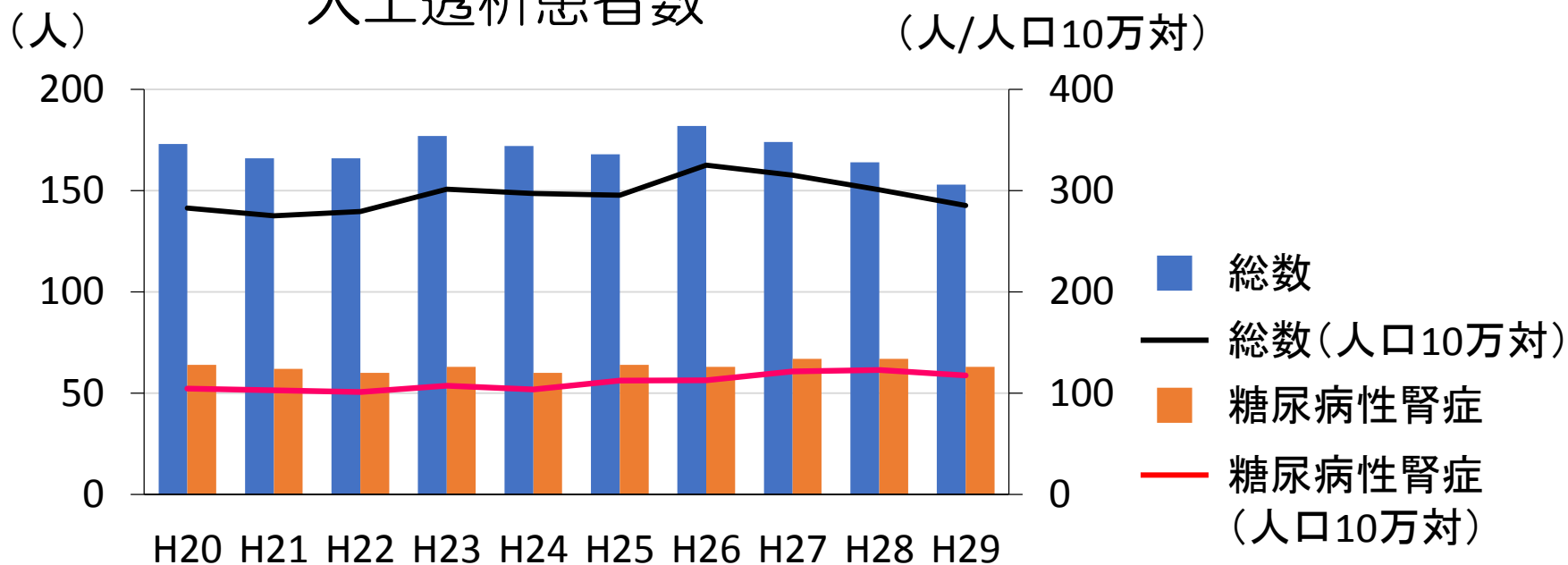
治療無し



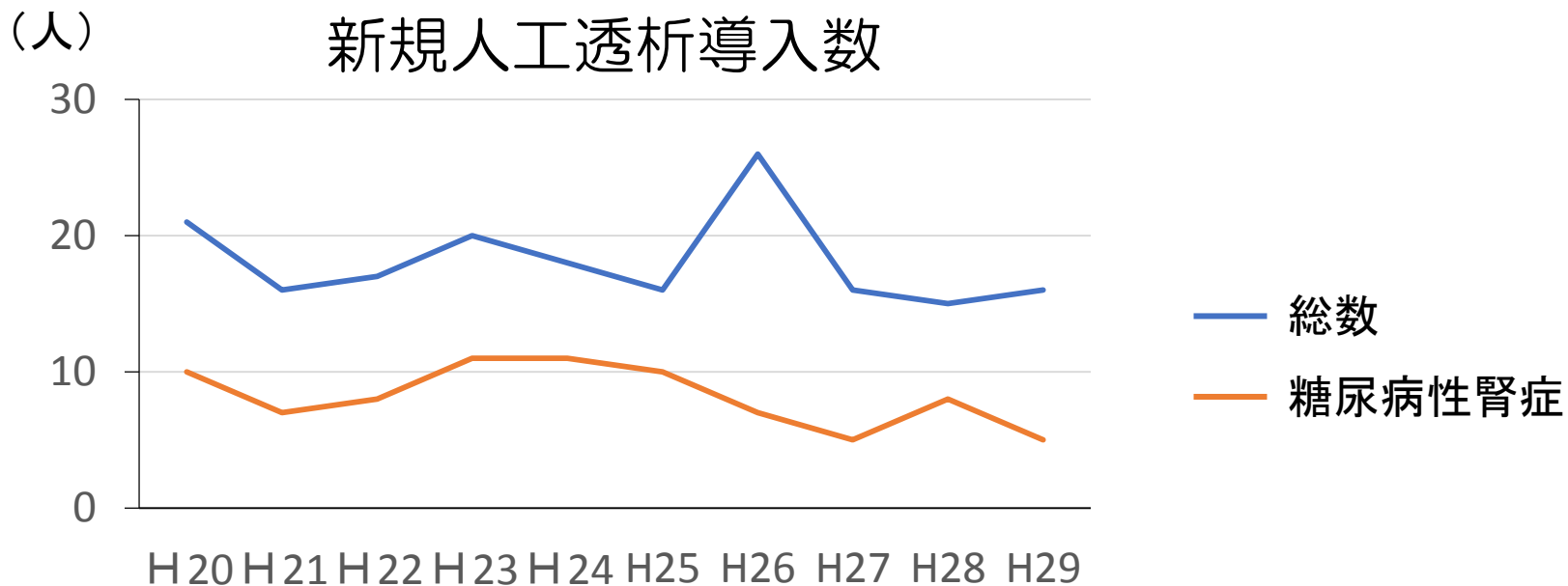
糖尿病治療中のHbA1c層別受診者数



人工透析患者数



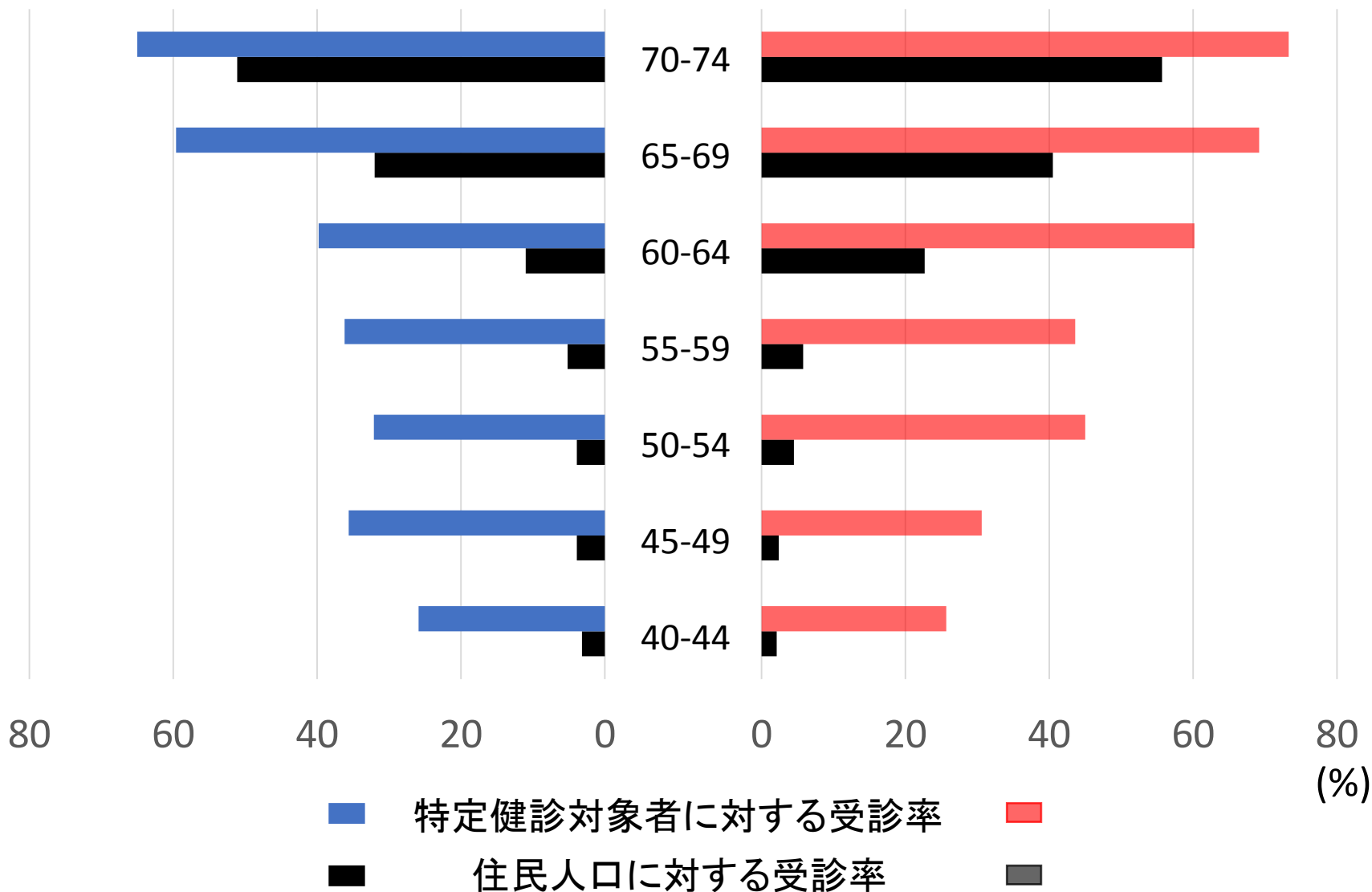
新規人工透析導入数



平成29年度宝達志水町住民の特定健診の受診率

男性

女性



まとめ (1)

- 医療関係者を対象に2回の講演会を開催。
- 眼科・歯科・内科の3科連携事業の症例登録数は増え、高齢糖尿病患者における腎機能悪化の背景が明らかになることが期待される。
- かかりつけ医からの療養指導支援要請は停滞してきており、なんらかの対応が望まれる。
- 住民への啓蒙活動は自治体毎に方法が異なっており、互いの良い点を取り入れより効果的な方法への進化を目指したい。
- 住民検診後の指導は高率に行なわれているが、その効果の確認が不十分な状況にある。

まとめ (2)

- 当地域の住民検診受診率は高率であり、県平均を上回っている。
- HbA1c値5.9%以下の受診者が減少傾向にあり、6.0～7.9%の者が増えている。この増加に対する解析・対策が必要と思われる。
- 糖尿病治療中の受診者では、HbA1c7.0%以上の者が増える傾向にあり、治療を受けていない者では6.5～6.9%が増加傾向にある。
- 糖尿病治療中の受診者でHbA1c 5.9%以下の者は減少傾向にあるが、これらに対する解析・対策も重要である。

まとめ (3)

- 当地域の住民における人工透析患者数は近年減少傾向にあるが、糖尿病性腎症による者は横ばいである。
- 糖尿病性腎症による新規の人工透析導入数はやや減少傾向にある。
- 全住民に対する住民検診の受診率は高齢者では高率と言えるが、60歳未満では10%に満たず、これらの年代の実態把握・介入には他の方法の導入が必要である。